

オプティマスグループ 会社案内



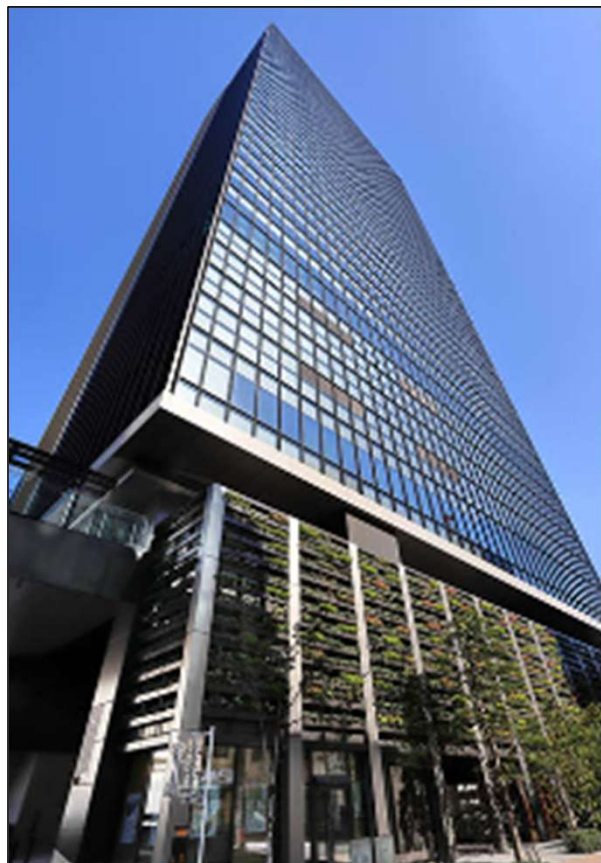
もくじ

- | | |
|-----------------|------|
| 1. オプティマスグループとは | p.02 |
| 2. 事業・主要市場の特徴 | p.11 |
| 3. 業績の概況 | p.26 |
| 4. 今後の戦略 | p.29 |



オプティマスグループとは

会社の概要①



会社名	株式会社オプティマスグループ
設 立	1988年（株式会社日貿・ジャパントレーディング） 2015年（当社）
資本金	40億6,885万円
代表取締役社長	山中 信哉
本 社	東京都港区浜松町2－4－1 世界貿易センタービル南館15階
事業内容	グループ会社の推進する自動車総合サービス（輸出入、物流、検査、サービス、小売卸売）の経営管理及びそれに付随する業務
株式市場	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：9268）
従業員数	単体：32名 連結：2,513名（2025年3月31日現在）

オプティマスグループとは

会社の概要②



自動車の
ライフサイクルに寄り添う

“クロスボーダー・カンパニー”



開発・製造

アフターサービス

自動車は、製造されて以降のライフサイクルが長い

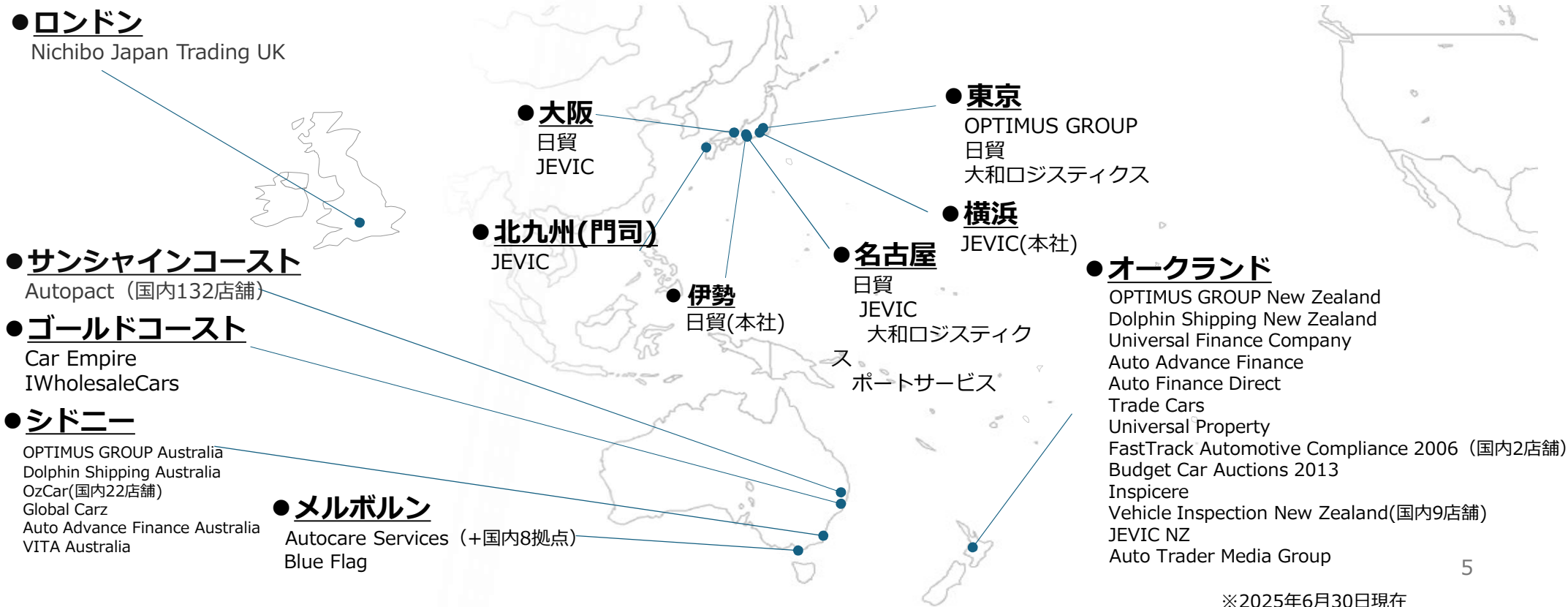
自動車に関する総合的なサービスを提供（開発・製造除く）

オプティマスグループとは



会社の概要③ 主なグループ会社と所在地

連結子会社62社（国内4社/海外58社）を展開中



会社の概要④ 事業ポートフォリオ

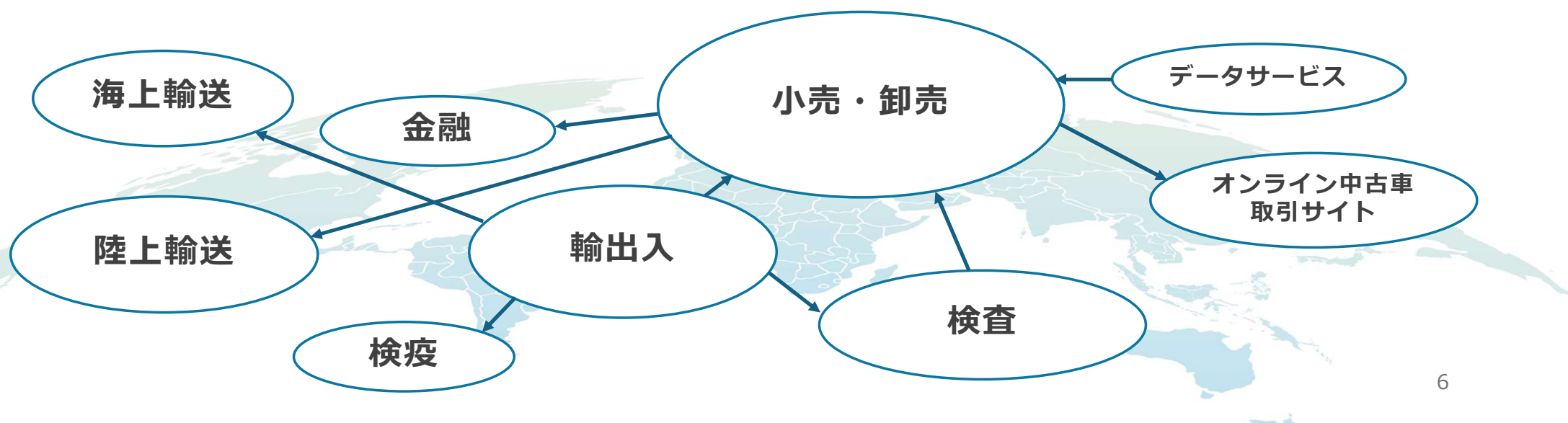
**地域・領域を分散した事業ポートフォリオを組み
リスク分散/収益の成長/安定性を両立**

アジア大洋州

ニュージーランド

オーストラリア

ヨーロッパ



オプティマスグループとは

経営理念・グループビジョン



経営理念

正しく公平な経営により、最善の貢献を図る

グループ ビジョン

- ・ 楽しく安全な移動手段と、一人一人に最適なサービスを提供する事業を究める
- ・ 新しい価値や革新的なサービスを創り出し、未来に向かって事業を拓く
- ・ すべてのステークホルダーと自然との共栄を図り、世界人としてグローバル社会の発展に貢献する

オプティマスグループとは

社名の由来



オプティマス(Optimus) は ラテン語で「最善」

提供する商品、サービス、事業に取り組む姿勢において
「最善」を求めていくとの強い想い



ロゴマーク：

- ・ 富士山から上る太陽が丸い地球に広がるイメージ
- ・ 日本から世界に向けて成長していく姿を表現

オプティマスグループとは

マネジメントチーム



各分野に精通した多国籍チーム



代表取締役社長

山中 信哉

やまなか のぶや
創業者



取締役

**ロバート・
アンドリュー・ヤング**

輸出入管掌
サービス管掌

在：ニュージーランド



取締役

岩岡 廣明

グループ統括/CFO



取締役

長崎 伸郎

監査等委員



取締役

伊藤 真弥

監査等委員



取締役

布施 伸章

監査等委員



取締役

ジョン・スタターリ

小売卸売管掌

在：オーストラリア



取締役

長田 太

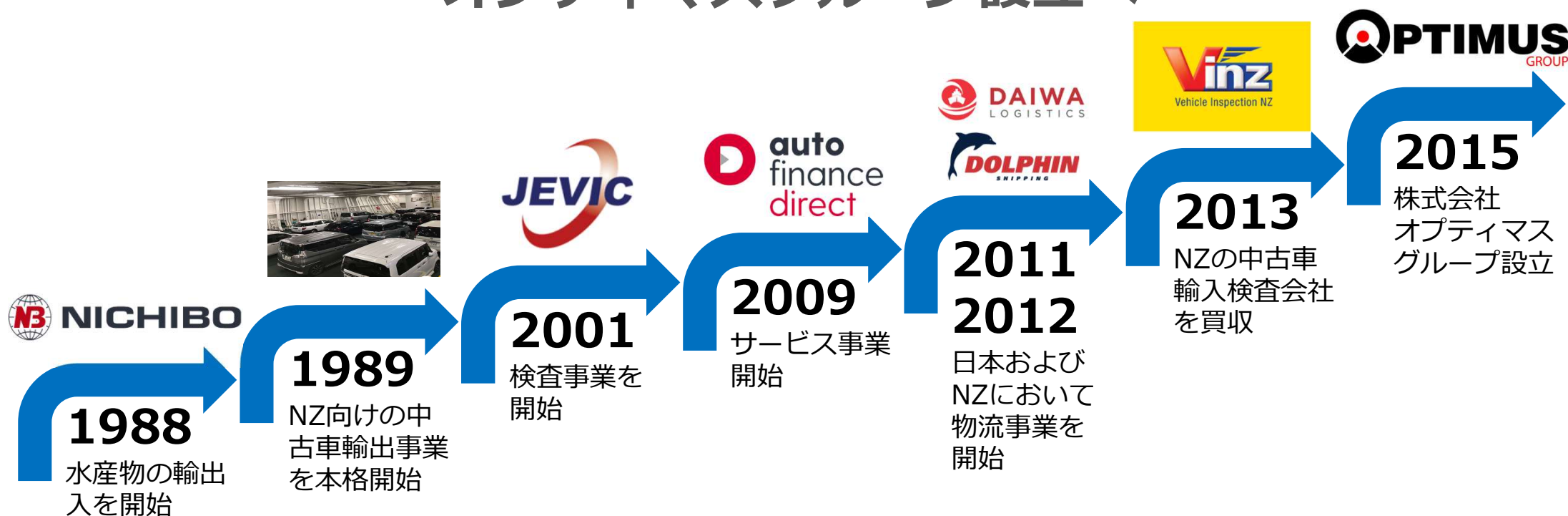
監査等委員

オプティマスグループとは

グループの沿革①



ニュージーランド（NZ）での事業構築から オプティマスグループ設立へ

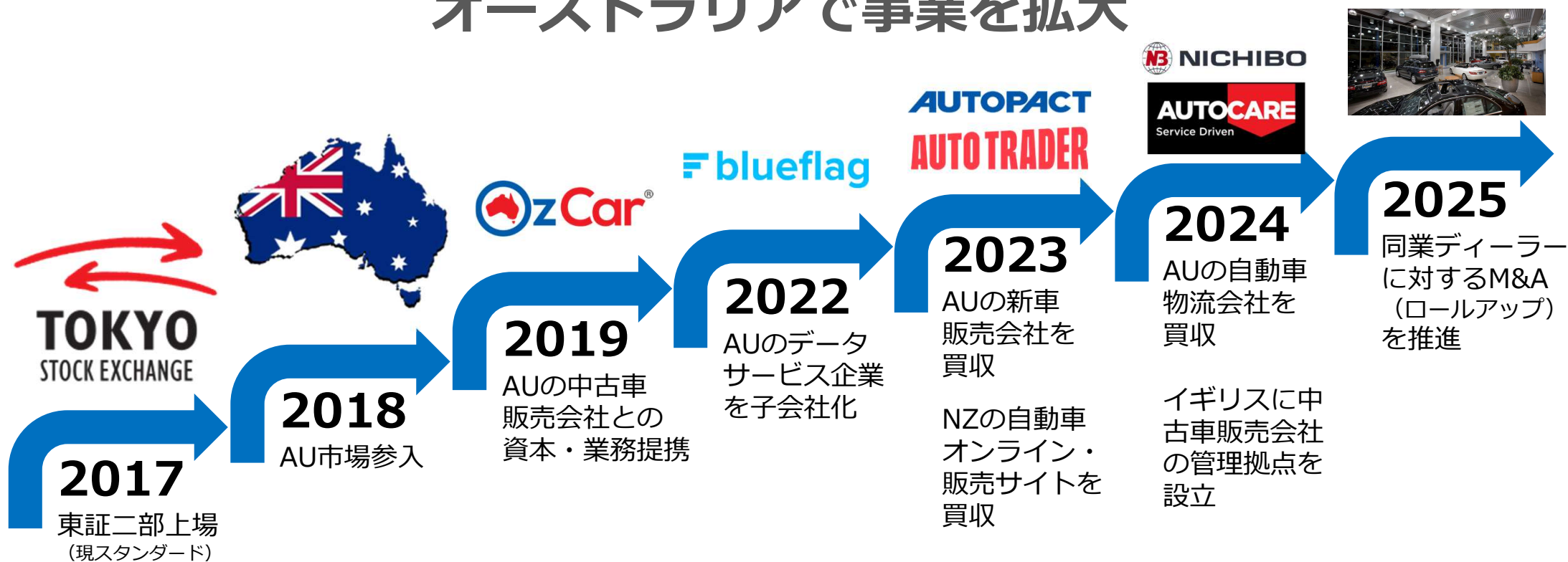


オプティマスグループとは

グループの沿革②



東証二部上場（現：スタンダード）を経て オーストラリアで事業を拡大



もくじ

- | | |
|-----------------|------|
| 1. オプティマスグループとは | p.02 |
| 2. 事業・主要市場の特徴 | p.11 |
| 3. 業績の概況 | p.26 |
| 4. 今後の戦略 | p.29 |



事業の区分（セグメント）

自動車の輸出入から小売まで 5つのセグメントでサービスを展開

輸出入

- ・ 中古車の仕入/輸出等

物流

- ・ 中古車の海外への海上輸送手配
- ・ AUでの新車の陸上輸送、保管

検査

- ・ 輸出車両の検査/検疫/清掃/整備
- ・ 輸入後の検査/車検等

サービス

- ・ 一般消費者向けオートローン、債権回収補助
- ・ 中古車online取引サイト運営、データサービス等

小売・卸売

- ・ AUでの新車/中古自動車小売等

2つの基幹ビジネスモデル

新車・現地中心のオーストラリアモデルと 中古車・全方位のニュージーランドモデル



ニュージーランドとオーストラリア①

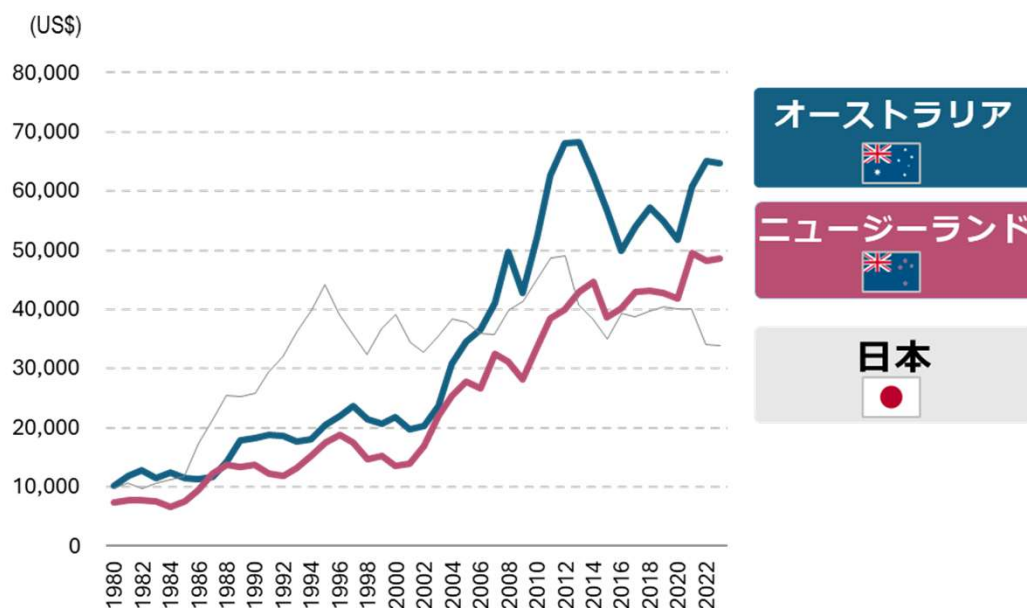
資源に恵まれた、南半球の先進国



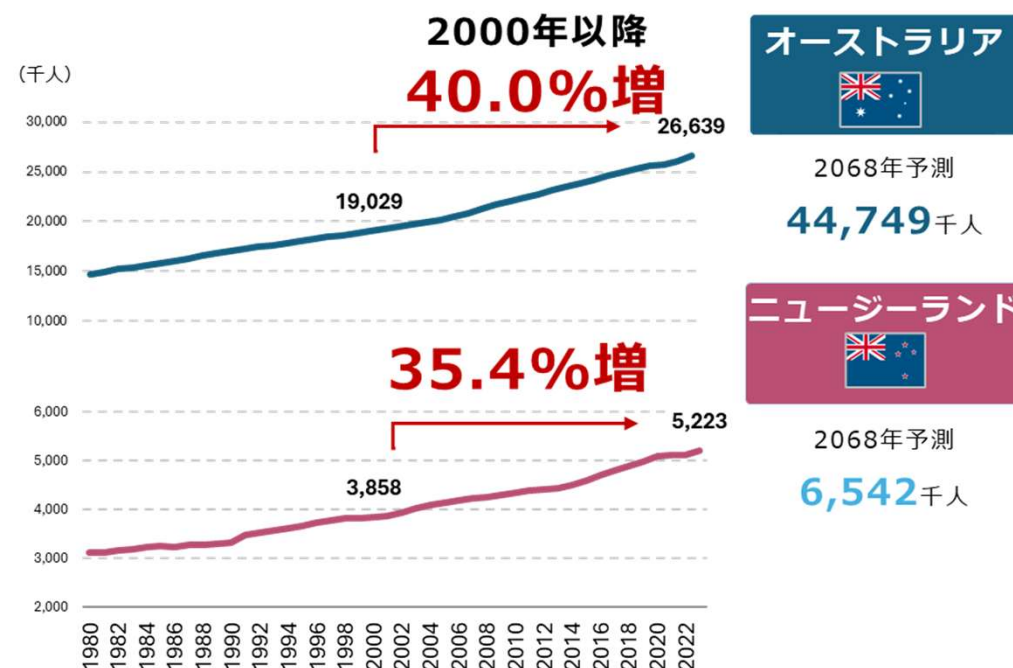
ニュージーランドとオーストラリア②

人口・経済ともに安定的に成長

○ 1人当たりGDPの長期推移



○ 人口の長期推移



ニュージーランドとオーストラリア③

世界トップ級の自動車普及率：自動車＝生活必需品

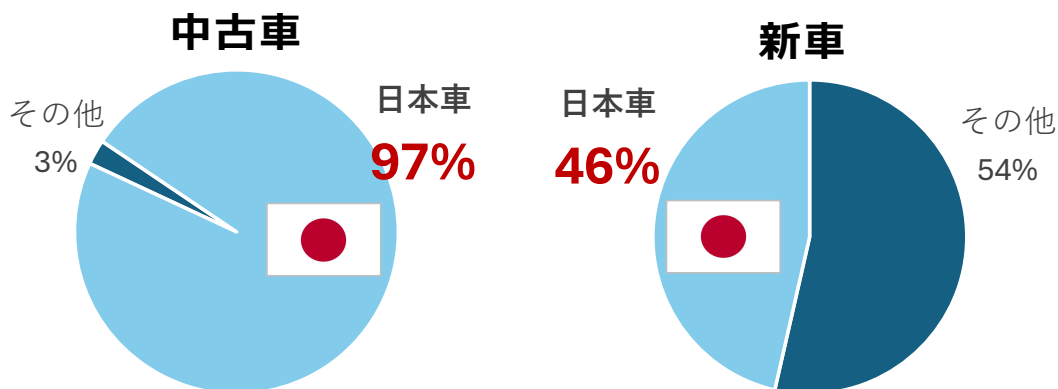
	人口	人口密度	自動車保有台数	自動車普及率
 日本	 124.5百万人	 328.4 人/Km ²	 78,453千台	 630台/1000人
 オーストラリア	 26.6百万人	 3.5 人/Km ²	 19,041千台	 718台/1,000人 (世界第7位)
 ニュージーランド	 5.2百万人	 19.7 人/Km ²	 4,310千台	 819台/1,000人 (世界第3位)

注：各国人口はWorld Bank Open Data（2023年）を参照した。各国の自動車保有台数は一般社団法人 日本自動車工業会が集計・開示している2021年末の四輪車保有台数等を参照した、自動車普及率はこの2指標を除算し算出している。

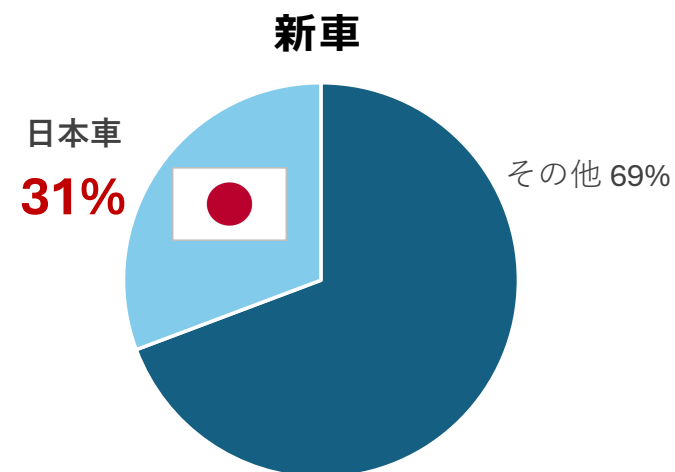
ニュージーランドとオーストラリア④

自動車は輸入にほぼ100%依存 日本車が強い地域

ニュージーランド 中古車と新車の比率が50 : 50



オーストラリア 新車がほぼ100%



ニュージーランドモデルの強み

「目利き力」で良質な中古車を仕入れ 納車まで一貫したサービス提供



ニュージーランドでの競争優位性

各ソリューションの強みを組み合わせ トップシェアを確保

輸出入

信頼関係構築で現地の有力ディーラー
約**200社**と継続取引

物流

日本-ニュージーランド輸送量の
スケールメリットを活かした
柔軟性・高収益性を確保

検査

100を超える輸出入時の
必須検査項目に対応
特許を有するヒートトリートメントによる
害虫混入防止処理

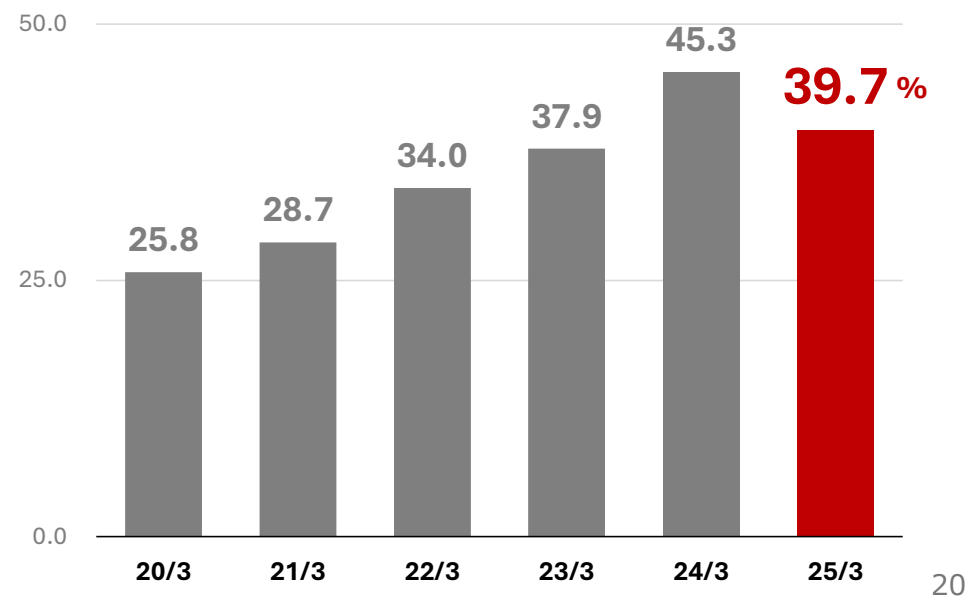
サービス

金融サービスからデータ提供まで
様々なニーズに対応

CtoC取引

市中取引の約7割を占めるオンライン中古車売買で
シェア第2位の取引ウェブサイト運営
(Auto Trader Media Group)

○ 輸入中古車市場：当社マーケットシェアの推移



ニュージーランドモデルの成長ポテンシャル

既存ノウハウを軸とした、更なる拡大の可能性



当社：

- ・ 約35年のNZ中古車取引で培ったノウハウの他市場（欧州その他）への展開
- ・ 伸びしろが大きい、個人向け中古車販売市場への参入

一般：

- ・ 移民による若年層中心の人口増
- ・ 世界トップレベルの食糧自給率
- ・ 地政学リスクの低さ
- ・ 政治経済が安定

オーストラリアモデルの強み

Autopact（新車販売会社）とAutocare（物流会社）
OzCar（中古車販売会社）を基盤に展開中

各国で
製造された新車



海上輸送



通関

陸送 港→保管場所

車検向け整備

輸入検査

陸送 保管場所→ディーラー

現地中心のバリューチェーン

ディーラー

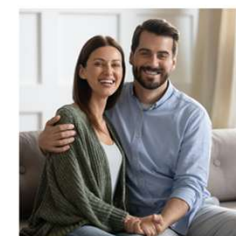


販売/サービス



買替え相談
中古車買取

ユーザー



データサービス



オーストラリアの主要グループ会社 ①

Autopact : 業界 3 位グループの自動車販売会社

AUTOPACT

100以上の新車販売店を展開する
ディーラーグループ

2023年11月に買収（100%子会社）

オーストラリア東部中心に事業展開

新車販売、中古車販売、サービスなど
多様なソリューションを提供



世界のメジャーブランド
30超をマルチに扱う



オーストラリアの主要グループ会社 ②

Autocare : 業界 2 位の自動車物流企業



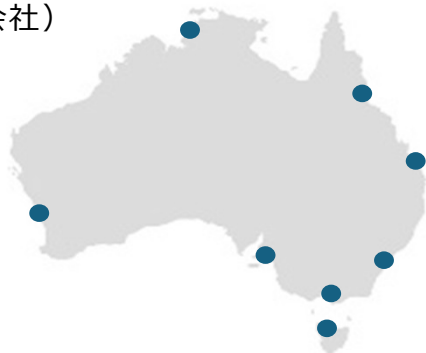
マーケットシェア3割強を確保

2024年5月に買収（当社100%子会社）

広大なオーストラリアの国土
全てをカバー

主要都市全てに拠点あり

日本の複数の有力自動車ブ
ランドの内陸輸送を手掛ける



オーストラリアの主要グループ会社 ③

OzCar : 中古車販売の大手企業



22の販売店で常時3,000台以上を取り扱う

2019年11月より出資比率引き上げ（当社30%保有）



オーストラリアモデルの成長ポテンシャル

グループシナジーとM&Aで大きな発展の可能性



当社：

- ・ 中小新車販売ディーラーM&Aによる規模拡大のチャンス
- ・ 新車販売・新車陸上輸送・中古車販売のメジャー企業によるグループシナジーの創出

一般：

- ・ ニュージーランドの約5倍の自動車市場
- ・ 移民による若年層中心の人口増
- ・ 豊富な天然資源（ガス/石炭/レアメタル等）
- ・ 世界トップレベルの食糧自給率
- ・ 地政学リスクの低さ、政治経済が安定

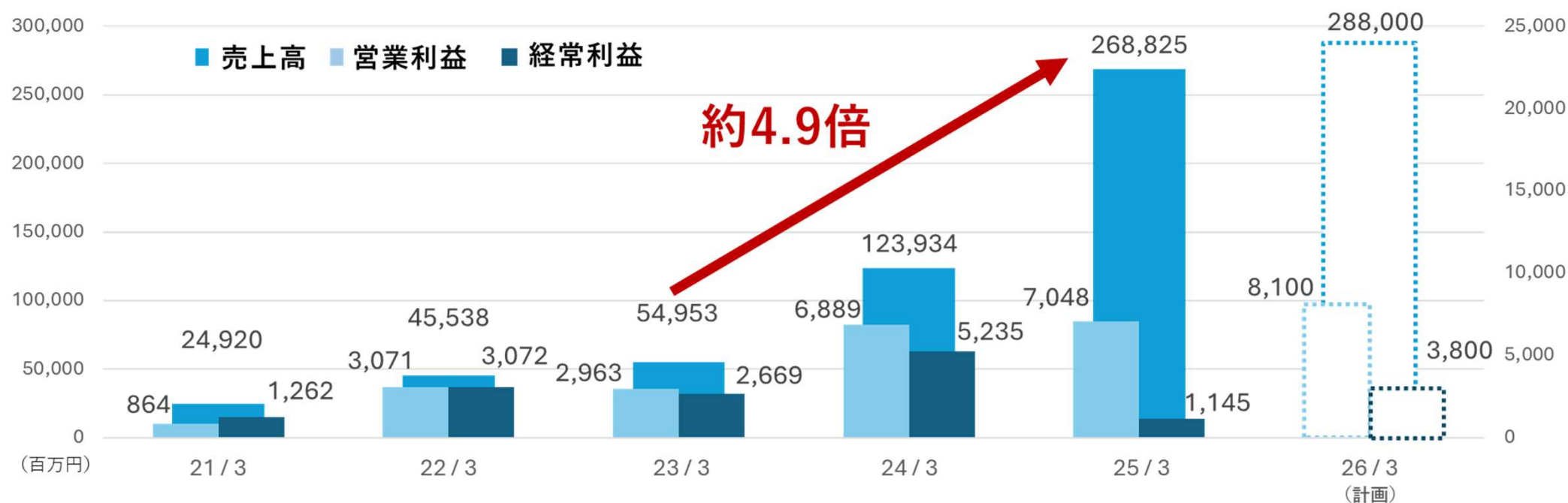
もくじ

- | | |
|-----------------|------|
| 1. オプティマスグループとは | p.02 |
| 2. 事業・主要市場の特徴 | p.11 |
| 3. 業績の概況 | p.26 |
| 4. 今後の戦略 | p.29 |



過去5か年の振り返り

大型M&Aでビジネス拡大なるも 前期（25/3期）はマクロ要因で利益面が減速



市場の評価



英フィナンシャルタイムズ紙 アジア太平洋急成長企業

High-Growth Companies Asia-Pacific
(2025年3月発表)

総合

129位
/500 位

Automotive
カテゴリー

3位



HIGH-GROWTH
COMPANIES
ASIA-PACIFIC 2025



[FT ranking: High-Growth Companies Asia-Pacific 2025](#)

日本経済新聞 成長性高い中小型株

2024年

1位

2025年

3位

日経「成長性高い中小型株ランキング」で、昨年、2025年3月期までの3年連続2ケタ増収率を背景に首位に選ばれました。今年も、2025年4～6月期と3年前の同期間の売上高増加率で3位にランクイン。

ダイヤモンドZAI 安定成長株 (2025年1月号)

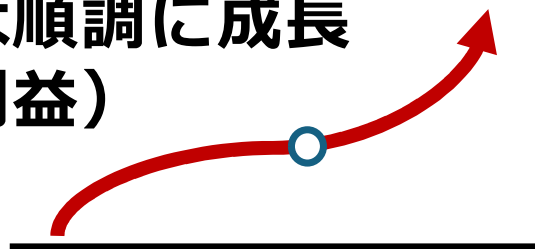
高水準ROE（14.9%）と手頃なPER（7倍台）が示す安定的な成長力が評価され、「安定成長株」として取り上げられました。

[日本経済新聞：成長性高い中小型株は首位オプティマス](#) [2025年 成長性の高い中小型株は](#)

今期の見通し

今期（26/3期）下期の回復を見込み 成長軌道への復帰を図る

過去数年は順調に成長
（売上・利益）



26/3期下期からの予測

- ・金利緩和等による景気回復
- ・新規事業/グループシナジー効果の結実

25/3期の利益減速の要因

- ・ニュージーランド環境規制変更による需要減
- ・オーストラリア競争激化
- ・大型買収に伴う利払い/税金増
- ・自然災害（名古屋地区の降雹）



もくじ

- | | |
|-----------------|------|
| 1. オプティマスグループとは | p.02 |
| 2. 事業・主要市場の特徴 | p.11 |
| 3. 業績の概況 | p.26 |
| 4. 今後の戦略 | p.29 |



中期経営基本方針と重点施策

チャレンジの継続と経営機能の充実

チャレンジの継続

■ 収益構造の強靱化

- ✓ Autopact/Autocare等によるAUでの収益機会の多角化
- ✓ NZ他地域での中古車輸出拡大によるポートフォリオ分散

■ 非連続成長の追求

- ✓ Autopactの更なるロールアップ推進によるスケールメリットの追求
- ✓ 自動車物流/中古車販売など隣接領域とのシナジーの追求

経営機能の充実

■ 経営資源の効率活用

■ 事業拡大に見合う経営機能の充足

各事業会社の独自成長と グループ間の相乗効果（シナジー）で業績を拡大



オーストラリア

各社で独自成長を図ると共に、
各社間シナジーを創出

全社の収益成長を牽引



ニュージーランド

中古車輸出トップシェア堅持と共に
中古車取引の約7割を占める
CtoC（個人間取引）への投資を加速

安定成長＋領域拡大



英国＋欧州右ハンドル国

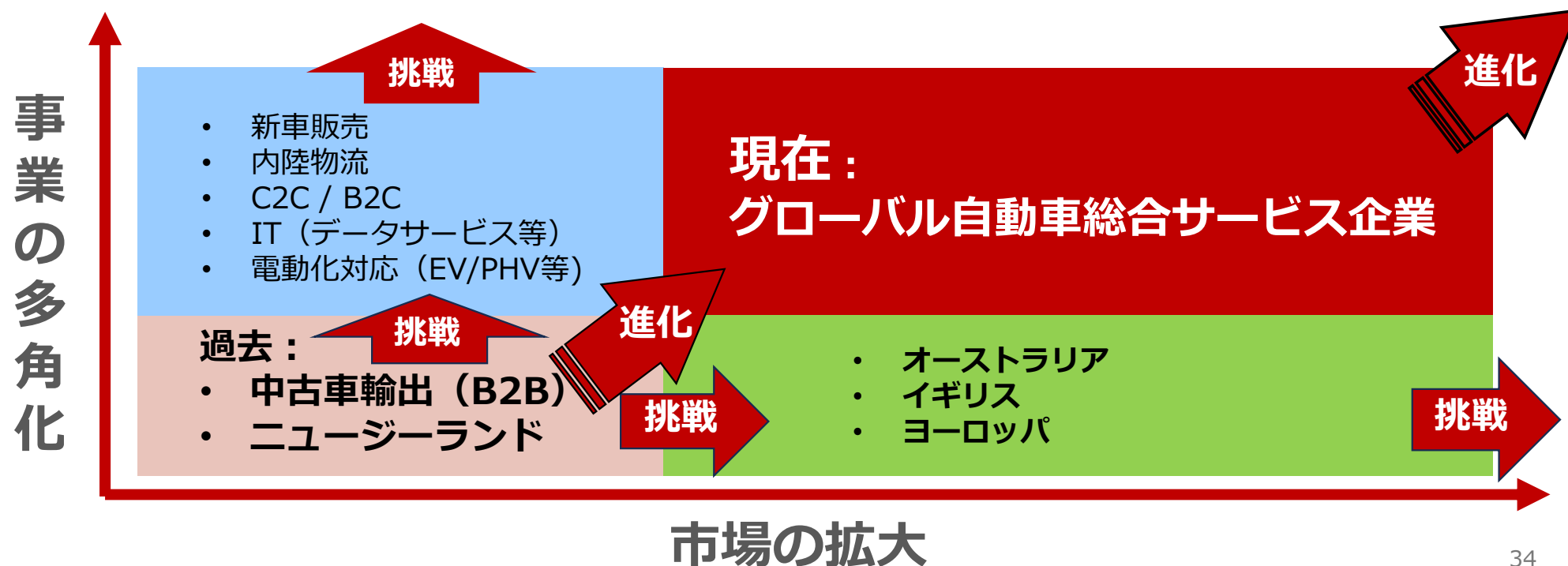
英国や欧州を
はじめとしたその他地域
への展開を本格化する

次の成長ドライバーへ

成長戦略イメージ



事業の多角化と市場の拡大に取り組み 会社として進化し続ける



経営の中期ターゲット

利益の絶対額と資本効率の 水準切り上げに注力

中期経営方針

■ 営業利益

15,000⁺ 百万円の早期実現

■ 親会社株主利益

6,000⁺ 百万円の早期実現

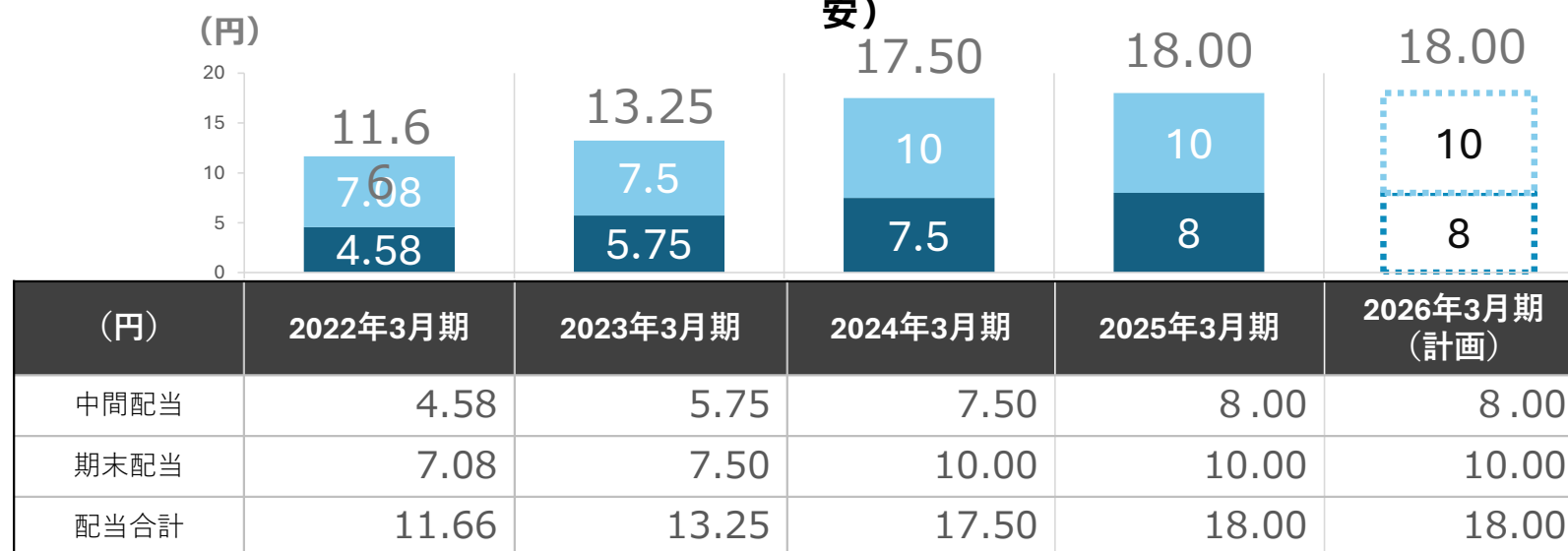
■ ROE

15.0⁺ %の安定的な確保

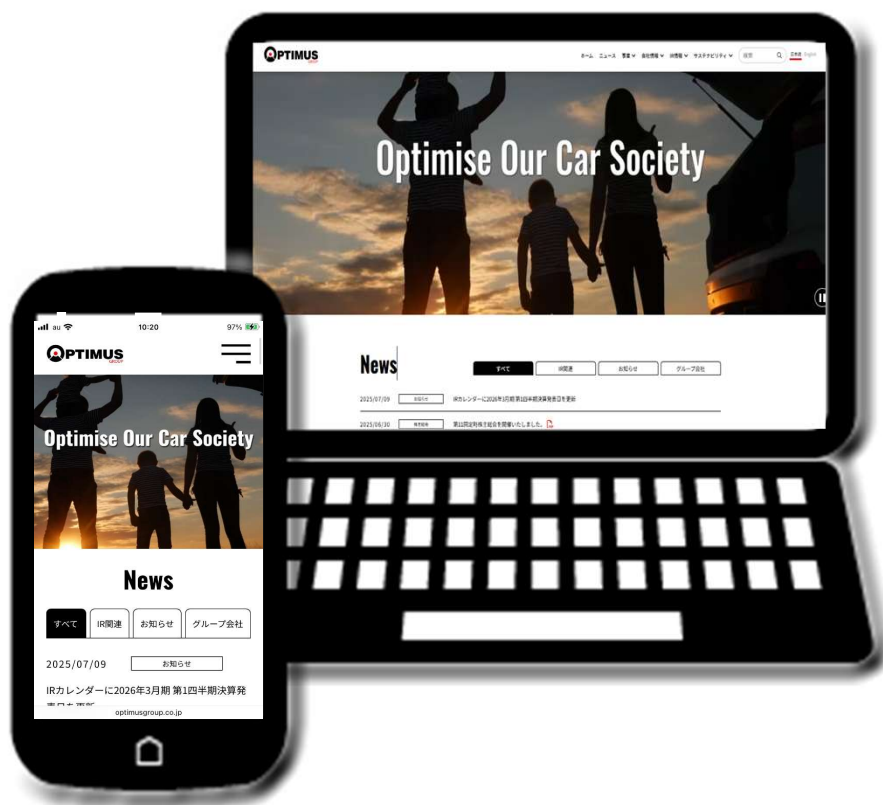
株主様への還元方針

長期的な株主様の利益を重視し、
「安定的な還元」に努める

DOE（株主資本配当率）**4.5%**（目安）



当社ホームページのご案内



株主・投資家の皆様に当社の情報を発信しております。

今後も内容を充実してまいりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.optimusgroup.co.jp/>

■主要コンテンツ

- 企業情報
- 事業
- ニュース
- IR情報
- サステナビリティ

免責事項

本資料には、直近の会計年度の実績および将来の見通しを含む情報が記載されています。将来の業績は、経済情勢や事業環境の変化等により、予告なく変更される可能性があります。あくまで参考情報としてご覧ください。

本資料に関するお問い合わせ
戦略企画ユニット
Mail: info@optimusgroup.co.jp
Tel: 03-6370-9268 (IR直通)

Optimise Our Car Society